

日
刊

新東京

No. 852

2012年4月2日(月)

日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部

03-5606-6784

内線 4353

ポストライフの **総合共済**

月額 **750円**

“仲間の助け合い” 共済の原点

「総合共済」は人生のさまざまな場面で起こる「うれしいこと」「悲しいこと」を仲間で分かち合う、助け合いの基本となる慶弔見舞の共済制度です。

結婚共済金

組合員が婚姻した場合

30,000円

出生共済

組合員に子が生まれた場合

30,000円



小学校入学祝共済金

組合員の子の満6歳
の4月1日

30,000円



銀婚共済金

婚姻からその状態が継続
して25年経過した場合

30,000円

退職共済金

組合員が退職した場合
組合員が満66歳にな
った場合

共済加入
1年につき **500円**

もしもの時にはこんな共済金も

①

家が火災等・風水
害等の被害に遭っ
たら

住宅災害共済金

②

大切な人を
亡くしてし
たら

死亡共済金

③

病気やケガ
をしてしま
ったら

傷病共済金

④

病気やケガで
重度の障害が
残ってしまったら

重度障害共済金

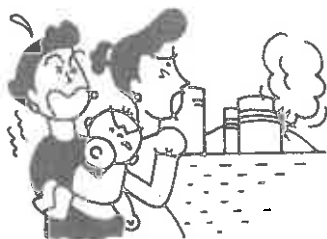
3・11郡山

『原発いららない！福島県民大集会』

参加してきました！

郡山は放射線量が高く、会場の開成山球場も外野スタンドには入らないようにと主催者から事前に注意がありました。しかし、内野スタンドを埋め尽くす一万六千人が参加し、外野席にも一部あふれ出すほど。

オープニングでは加藤登紀子さんが登場して六曲を歌いました。「今どこにいますか 寒くはないですか お腹は空いていませんか・・」。これは震災直後に被災地に思いを寄せながら作った歌。集会呼びかけ人や大江健三郎さんの挨拶が続いて、



県民を代表して六人の方が、二時四十六分に一分間の黙とうを挟んで、発言されました。富岡町から郡山に避難している女子高生は「原発事故を収束させられるのは事故現場で働いている作業員の人たち。被爆しながら

働いているこの人たちは友達のお父さんだったり先生の知り合いだ」。

労働組合の参加も多かったですが、見渡す限りではJP労組の旗は見えなかったのがさびしい。

翌日は車で浜通り（福島県の太平洋側）を走りました。福島第一原発になるべく近づこうとしたのですが、「このさき避難区域。立ち入り禁止」の看板。その下には、誰が置いたのか花束が。昼食を摂った小名浜漁港では食堂の人が「市場でも津波で六十人くらい亡くなった」「あつちの集落では百八十人が」と。「心まで汚染されてたまるか」と手書きで書かれた看板が心に残っています。

(T)

日刊
ア新東京

No.853

2012年
4月3日(火)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

二特分会A 退職者送別会

送別ムードはドコ吹く風と 明るく楽しく賑やかに

三月二十五日(日)、東陽町ビス
タホテルにおいて、二特分会Aの
退職者送別会が行われました。

それまで、週末は毎週のように
雨が降っていました。当日はと
てもよい天気にも恵まれました。

今回の二特分会Aの定年退職者
は小川信一さん・栗原巳喜雄さん
・佐々木幹夫さんの三名で、会場

には他課からも幅広く出席をいた
だき、五十名に迫る人数となりま
した。

会場の受付では東日本大震災被
災者への募金箱が設置され、退職
者へのお祝いムードも手伝い、た
くさんの方が入れて下さいました。

はじめに、高木分会長から三名
の略歴が紹介され、「永い郵便人生、

お疲れ様でした。これから第二の
人生を迎えることとなります。お
体を大事にお過ごしください」と
あいさつされました。

つづいてFさんの乾杯の音頭を
皮切りに、ビュッフエスタイルの
料理の数々に舌鼓を打ちつつ、し
ばしの歓談を楽しみました。

栗原さんは、主役であるにもか
かわらず、ビール瓶を片手に各テ
ーブルへ挨拶にまわっていました。

前分会長である佐々木さんは、
分会の取り組みを企画する立場が
染み付いているようで、会の進行
をしきりに気にしていました。

「ゲストは落ち着かないね。送り
出す側のほうが、よっぽど気が楽
だ」とは佐々木さん談。

小川さんは最初のほうこそ緊張
で固まっていたましたが、会が進む
につれていつもの調子を取り戻し

てきました。

酒も料理もひと通り楽しんだころ、退職者へのコメントを求められ、多くの出席者からメッセージをいただきました。

例年であれば事前に依頼した方だけのはずが、今年はランダムにマイクを向けたり、退職者のリクエストを訊いたりしていました。いきなりマイクを向けられたひとは悪戦苦闘しながらも、退職者への思いを述べてくれました。

Nさんは「みんな再雇用で一特に来ると思ってたのがっかりだ」若手の組合員からは、「再雇用となるからには、わたしのほうが上司ですから、いまみたいになさませませんよ(笑)」

ゆうメイトのMさんからは「〇〇さんがいるときは、みんな一生懸命頑張ろうと、気合いがはいっ

ていました」などとアルコールの勢いも手伝って、こころ暖まる憎まれ口が飛び出すなど、会場は大いに賑わいました。

宴もたけなわ、会も終わりに差し掛かったころ、退職者への花束と記念品贈呈が行われました。

退職者のみなさんからは、「みんな協力して、このような素晴らしい会を開いてくれてありがとう。これからは二普ですが、ちよくちよく顔をだしますので、よろしく」

「みなさんのおかげで、ここまでくれました。ありがとう」「これからも二特でお世話になります」

などとあいさつをいただきました。その向こうに目をやると、何やらモソモソと動く人影が見えてきました。

その人影とは、二特分会Aレクではお馴染みの、Tさんによる「

スプレ・パフォーマンスで、待つてましたとばかりの大喝采に沸きました。

締めは、高木分会長による「團結、がんばろう！」の唱和で、送別ムードはドコ吹く風と、なごやかに会は終了しました。

退職者のみなさんが無事に定年退職を迎えられましたこと、紙面にてではありますが、お祝い申し上げます。

これからも人生の先輩として、後進の私たちに助言などいただけたら幸いです。

また、退職者送別会を開催するにあたり、非常に多くの方からカンパをいただきましたことも、併せて御礼申し上げます。

新東京

№. 854

2015年
4月4日(水)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

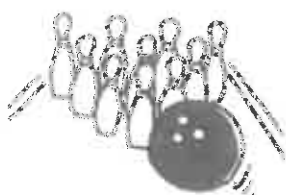
03-5606-6784
内線 4353

日本郵便輸送支部 東日本大震災復興支援 ボウリング大会に参加して

3月11日午後、2特分会の組合員と一緒に日本郵便輸送支部震災復興支援ボウリング大会に特別参加してきました。

開催会場は渋谷区笹塚にある「笹塚ボウル」、古庄支部長から「今日は新東京の仲間も参加しています。新東京支部賞というのがあるみたいですので、一

生懸命がんばり
ましよう」と主
催者あいさつの
のちに始球式ゲ
ームスタート



最初にストライクを出した人
に、ボウリング場からピールの
サービスがあるとのこと。我が

新東京2特分会としても神経を
集中させて、なんと若崎君がス
トライクを(ずうずうしくも)
出しました。

スーパードライをゲットして
さらに真剣に勝負!!その後も
一球一球に、一球一臺しながら
も2ゲーム終了。

ボウリング場内で表彰式。懇
親会が開かれました。日頃の実
力を遺憾なく発揮して2特分会
の平川くんがなんと3位入賞、
参加した5名すべてが賞品をも
らう結果となりました。

懇親会・交流会では郵便輸送
支部のおかれている状況、郵便
事業会社による経費削減施策の
悩みなどを聞き、改めて事業会
社の子会社としての輸送支部の
厳しさを実感しました。

新東京支部 支部長 下山 薫

去る3月17日、つきし市場食堂
東陽町店にて、二普分会の送別会を
開催し、45名の参加者を集め盛大
に執り行われました。

宮澤分会長による開会あいさつの
後、乾杯、その後定年退職を迎える
足達露橋総務主任に女性社員から長
い間お疲れさまでしたという感謝の
気持ちを込めて記念品が贈呈されま
した。

今回は、定年となる足達総務主任
の他、3月で任期満了となる再雇用
社員の方々と、ゆうメイトの方々に
もご参加いただきました。宴が盛り
上がる中、1人1人から退職にあた
つてのごあいさつを聞き、現役社員
やゆうメイトさん達からもお疲れさ
までしたとこれまでの業務に対する
労いの言葉を贈りました。

また、会の途中、司会進行から総
会新規加入者の紹介があり、当日参

加した2名の新入組合員の方々から
あいさつを聞き、続いて組合員の結
婚報告というおめでたい知らせもあ
り、うち当日散会した組合員本人か
らなれ初めと結婚後の近況報告があ
りました。

会も佳境に差し掛かり、本日の主
役である足達総務主任からの退職に
あたってのあいさつをいただきました。
入局から新東京に異動し、今日
に至るまでの経緯を詳細にお話いた
だき、その後、足達さんの直接後輩
にあたる社員の方々から労いの言葉
を述べられました。最後は、足達さ
んへの花束が贈られました。

限元副分会長による中締めのおい
さつで2時間に及ぶ送別会は惜しま
れつつではありますが終了となりま
した。足達さんは4月から再雇用と
して、また、今月で任期満了となる
再雇用社員のうち2名はゆうメイト



として働かれるというご報告があり
ました。引き続き直しくお願い申し
上げると共に、3月で退職となられ
た再雇用社員、ゆうメイトの皆さん、
長い間大変お疲れさまでした。

日
刊

JP新東京

No.856

2012年4月6日(金)

日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部

TEL 03-5606-6784 内線 4353

第83回メーデーに参加しよう！！

本年も「第83回メーデー中央大会」が、「日本全体でつながり・支えあおう！すべての働く者の連帯で働くことを軸とする安心社会を実現しよう！」をスローガンに掲げ開催されます。

開催にあたっては、連合の基本的な考え方である、①震災からの復興・再生を軸に「雇用と生活の再建」を据える、②「働くことを軸とする安心社会」の意義と労働組合の役割や使命を組織全体で再確認する、③「すべての働く者の連帯をめざした社会的な運動」を実現するために、諸団体やNGO・NPOと協働し、組合を感じる、「一体感のある」取り組みとしています。

新東京支部としても、働く仲間の連帯で被災地の復興支援に向け全力で取り組むことから、組合員の皆さんの最大限の参加をお願いします。

名 称 第83回メーデー中央大会

日 時 2012年4月28日(土) 10:00~14:30

構 成 (1)結集デモ 8:30~10:40

(2)中央式典 11:00~12:00

(3)ようこそ！

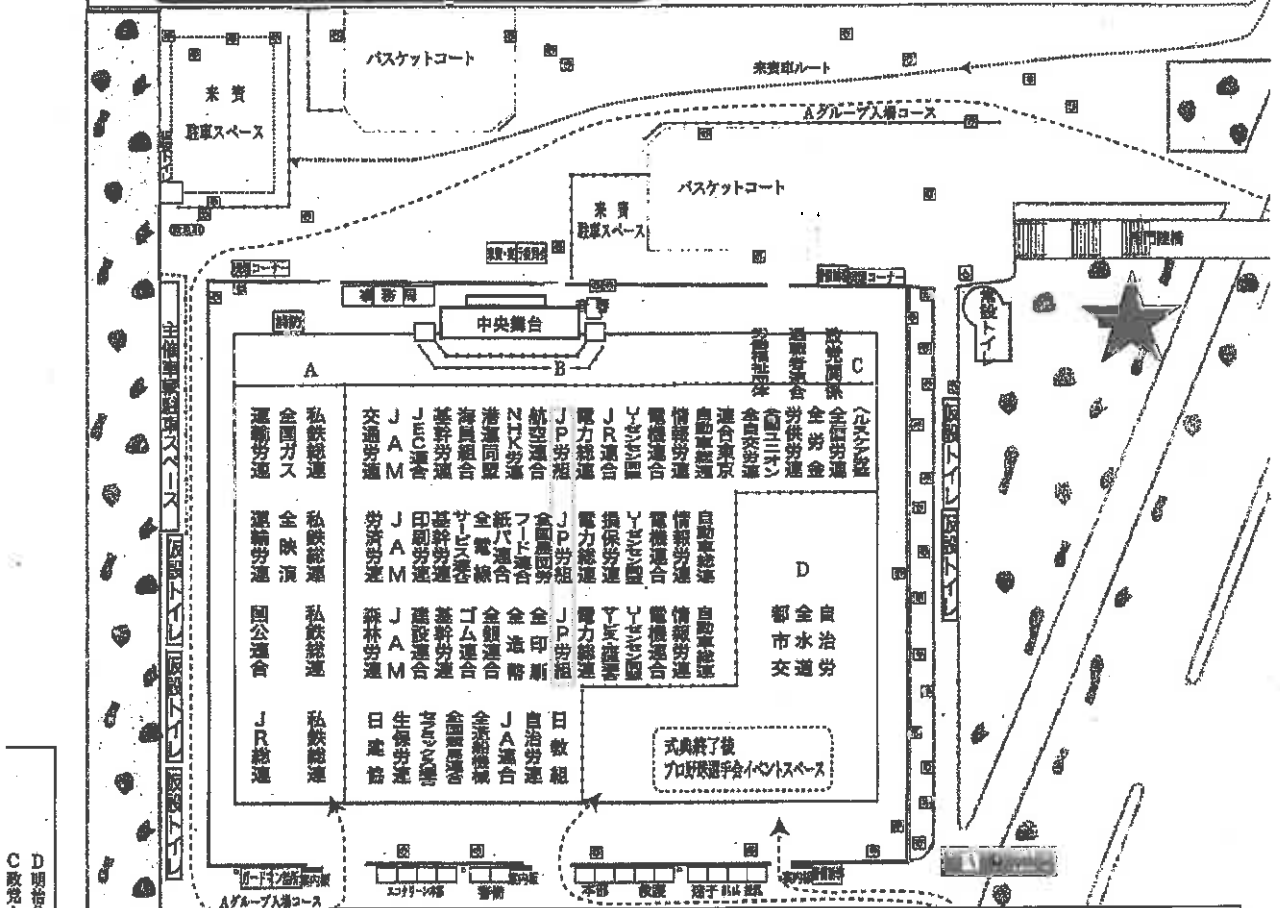
ユニオン・カーニバル!! 10:00~14:30

会 場 代々木公園

(B地区、サッカー場、けやき通り)

第83回メーデー中央大会会場

横田フィールド



当日は大変混み合うことが予想されます。

★の場所を集合場所とします。集合後、会場内に移動しメーデーに参加します。

国際ボランティア活動を支えるカンパへご協力を！！

フィリピン郵便労働者子弟に対する高等教育支援

J P 労組は「UNI」(国際産業別労働組合組織)に加盟しています。私たちは「UNI」を通じて、フィルポスト(フィリピン郵便局)で働く仲間の子弟向けに奨学金制度を実施しています。みなさんのあたたかいご協力により、毎年たくさんの優秀な学生が育っています。

ラオス遠隔地高校生支援

経済的・地理的条件などから高校進学を断念せざるを得ない生徒に高校での勉学の機会をつくる制度です。現在90名の学生がみなさんからのご支援により寮生活をしながら勉強し、寮生は優秀な成績を取っています。

子供たちの夢の実現のために...

一人の力が大きな力になります!

日 刊	JP新東京	No.858	2012年4月10日(火)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5606-6784 内線 4353	

東京地方女性フォーラム企画

女性フォーラムカレッジ

～女性のライフスタイルに合わせたマネープラン～

日程：2012年4月22日(日) 9:30受付
10:00～16:00(終了予定)

会場：ホテルベルクラシック東京
6階「コンチェルト」

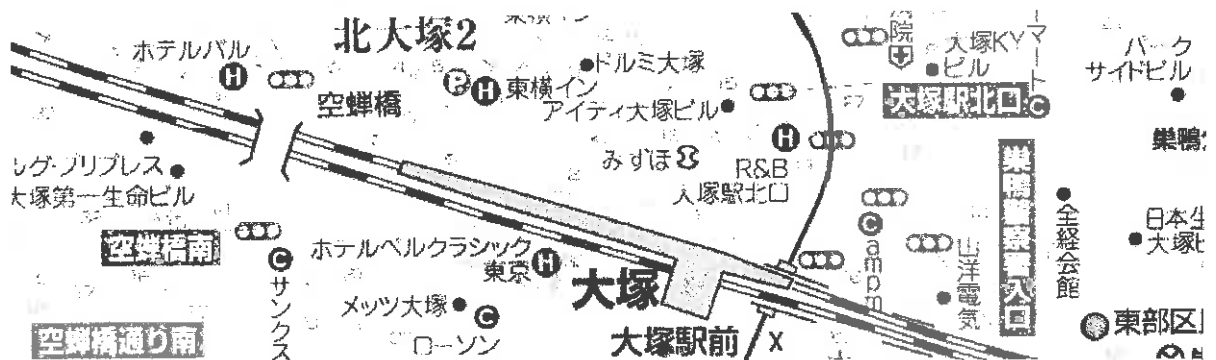
内容：講話 「女性のライフスタイルにあわせたマネープラン」
講師：(株)グライフ 植木祐実さん
他、「給与明細の見方」、「がん保険について」等

対象：女性組合員(昼食付 自分の給与明細を持参して下さい)

定員：80名(先着)

参加費：1人500円(当日徴収、全額義援金カンパとします)

申し込み締め切りは、2012年4月13日(金)



JP労組新東京支部ホームページ <http://jpgu137.cafe.coocan.jp/>

新東京支部 野球部 始動！！

この度、新東京支部のサークル活動として、フットサルに次いで『野球』サークルを発足します。

プロ野球も開幕し、野球をしたい！やってみたい！方々を大募集いたします。(執行部または分会役員まで)

早速ですが、練習日 & 試合日が決まりましたのでお知らせします。

◆練習日

2012年4月26日(木)

10:00~12:00(集合時間は、9:30)

場所;夢の島グランド

◆試合日

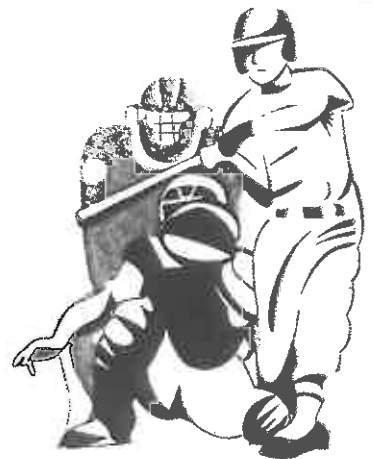
『中央連協野球大会』

2012年5月23日(水)

9:00~13:00(集合時間は、8:30)

場所;夢の島グランド

☆当日は、2試合あります。



ちなみに…

監督→武田 覚(3パック)

コーチ→小林 清(3パック)

キャプテン→石井 直(2特)

と、なりましたので、よろしく申し上げます(^_^)/

日刊
ア新東京

No. 8 5 9

2012年
4月11日(水)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

【郵政改革の早期実現に向けて】

参考人質疑に臼杵本部委員長が出席

JP労組の考え方を主張へ

今、国会では郵政改革の実現に向けて、民主・自民・公明三党が共同提出した「郵政民営化等の一部を改正する等の法律案」の審議がヤマ場を迎えています。私たちの職場と雇用等に直接大きな影響を与えるだけに組合員の関心は高いものがあります。以下に、4月6日付の本部情報

の概要をお知らせします。

特別委員会において

法案の趣旨説明が行われる

：本日(4/6)「郵政改革に関する特別委員会」が開催され、民主・自民・公明三党が共同提

出した「郵政民営化等の一部を改正する等の法律案」について、議員立法として提出した議員を代表して、民主党・武正公一筆頭理事から法案の趣旨説明を行いました。武正筆頭理事は、「本法律案は、郵政民営化について、内外の社会経済情勢の変化等に鑑み、郵便局会社及び郵便事業会社の再編成、郵政事業に係る基本的な役務の確保のための措置その他株式会社としての確に郵政事業の経営を行わせるための措置を講じることにより、その見直しを図ろうとするもの」との提案理由をあげ、「郵政民営化の目的を『株式会社』〔裏面へ続く〕

**郵政改正案、11日に
特別委採決、12日に
も衆院通過の見通し**

[4/10 時事通信]

「表面より続く」 社に的確に郵政事業の経営を行わせるための改革とすること」と改めること」等の概要を説明しました。

…略… また、特別委員会理事會において、10日から参考人質疑を行い、JP労組・白杵中央執行委員長(民主党推薦)、一般社団法人全国銀行協会会長・佐藤康博氏(公明党推薦)、檜原村長・坂本義次氏(自民党推薦)、静岡大学人文社会科学部教授・鳥畑興一氏(共産党推薦)の4名が参考人として出席し、法案に対する意見陳述(各10分)を行うほか、各委員の質疑に答えることで合意しました。

…略… 本部は、法案については、来週(注・今週のこと)中には衆議院を通過させ、参議院に送付させる方向で懸命な努


力をしていきますが、

国民新党代表が消費税法案の閣議決定に反対して連立離脱を表明したこと等に関連して、野党から「連立は成り立たない」とする反発が生じ、早期事態の収束に向けて政府・民主党も対応を行っているところですが、6日現時点において事態の解消には至っていません。したがって、本部は事態の収束がはかられるように民主党に強く求めているところではあります。…以下略。【中央総合情報第199号より抜粋】

JP労組の組織内議員が 私たちの声を政治の場へ届けます

郵政改革に限らず政治は私たちの暮らしに身近な存在です。なぜなら社会の仕組みを定めた法律は、私たちが選んだ国会議員によって決まるからです。私たちの働いている郵政グループは今、国会で成立した法律によって民営・分社化が決定しました。バラバラにされたグループの絆を再生し、地域社会を支える郵政事業の発展を通して国民生活の向上がはかられるようにしていかなければなりません。そのことが、私たち郵政労働者の幸せを追求することにつながっていきます。

政治の動向に関心を持ち、私たちの声と意志を示すことによつて、政治、そして私たちの未来を変えることが出来ます。

日 刊	 新東京	No. 8 6 0	2012年4月12日(木)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
		03-5606-6784	内線 4353

「新たな人事・給与制度」の交渉再開に向けて第二次要求交渉以降の新たな考え方が示される！

＝今後、職場意見を集約の上、交渉再開＝

「新たな人事・給与制度」の交渉再開に向けて第二次要求交渉以降の新たな考え方が示されました。JP労組は結成大会において「民営化に相応しい労働条件の実現」に向けた方針を提起し、第1回中央委員会で「頑張ったものが報われる制度の実現をJP労組として能動的に求めていく」ことを決定。その後、第1回定期全国大会および第2回中央委員会において、「新時代における新たな人事・給与制度の実現」に向けて、6項目の基本方針を決定し、それに基づき要求交渉を展開してきました。

その後、郵政法案をめぐる状況変化を受け、第3回定期全国大会において、「慎重に議論を行う」という決定に基づき、これまで足踏みの状態で推移してきました。そうした中であって、昨年の第4回定期全国大会において「郵政法案の成立見通しが不透明であるものの、グループを取り巻く環境等が大きく変化していることを踏まえ、別途、会社側の考え方を引き出し慎重に扱う」ことを確認したところです。

そして、本年2月に開催した第9回中央委員会において「出された意見を真摯に受け止め、再度会社の考え方を明らかにさせ、交渉を再開する。なお、郵政改革の動向を踏まえた対応を含め、交渉経過については、地本書記長会議などで報告するなど、組合員との往復運動を行いながら進めていく。そして最終判断する際は、定期全国大会に諮ることとする。」という組織決定をしたところです。

グループ5社より、新たな人事・給与制度の構築に向けた交渉再開にあたって、第二次要求交渉を踏まえ、継続して交渉する課題および事業の環境変化に伴い当初の提示内容から追加・修正する課題について提案がありました。

交渉を再開するにあたっての基本認識（本部スタンス）は、第9回中央委員会で、今次、人事・給与制度の交渉再開に向けて、①人件費の抑制または引き下げを意図するものではないこと、②グループ5社全体での取り組みとすること、③労働力政策と並行した議論を行うこと、について会社と確認したことから、交渉再開することについて判断したところです。

今回、交渉を進めるにあたっての基本認識（本部スタンス）は、中央委員会で確認した上記の3項目の他、新たな視点は以下とおりです。

①厳しい事業環境にあって、事業を存続させ、組合員の雇用と労働条件を維持していくためには、生産性の向上が不可欠であり、そのためには頑張ったものが報われる新たな人事・給与制度の構築が必要であること。

②また、大きな事業環境の変化に伴って、変化する働き方に対応し、評価制度や給与制度などを見直す必要があること。

③第二次要求交渉経過を踏まえ、新たな会社提案に対する要求交渉を行い、より良い制度を作り上げていく必要があること。

④郵政改革の状況変化を踏まえた交渉を展開していく必要があること。

以上の項目を踏まえ交渉をスタートすることとします。

なお、今後、丁寧な往復運動を重ね交渉を積み上げていくことを基本に、会社提案を受け周知を行うこととしました。

IV 当面のスケジュール

4月3日(火) 提案内容に対する本部スタンス等の周知および意見集約要請

4月上旬～中旬・・・本部による地方への説明オルグ

4月26日(木)～27日(金)書記長会議

5月 2日(水)意見集約日【厳守】

5月 9日(水)臨時書記長会議(要求概要説明)

5月14日(月)要求書提出

5月30日(水)書記長会議(交渉経過の説明)

6月13日(水)～15日(金)全国大会(交渉経過を踏まえ中間的な見解)

男女共同参画部よりお知らせ！！

女性組合員の集いの場、『ガールズルーム in 新東京』本日最終日！

場所 ; 事務棟1階応接室(旧第1研修室)

時間 ; 9:00～20:00

「お昼にガールズルームに立ち寄りました。普段話す機会がない方と話すことが出来てとても新鮮」という意見が寄せられました。

日刊 新東京

No. 8 6 1

2012年
4月13日（金）

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

『東日本大震災』を

踏まえた危機管理態勢の充実、強化に 関する大綱整理

◎「人命第一の避難行動」や「グループ会社間での事業用物品の貸借」等、グループ共通のマニュアルとして整理・共有する。

◎各社間の相互協力に関する包括協定を締結して、連携を強化すること。具体的な実施に向けて対応をスタートした。

◎郵便事業会社は、近隣支店の活用や仮設の設置等により代替施設を確

保（原発の立入禁止区域を除く）し、集配ネットワークを維持している。

◎地域一体が全壊・流失した地域の施設については、今後、地方公共団体等と連携を密にし、地域の復旧状況等も見極めた上で恒久的な施設の設置を検討していく。

◎福島第一原子力発電所の事故を受け福島県では被ばく量が高い可能性のある市町村を中心に、子ども・妊

婦を優先にホールボディカウンタによる内部被ばく検査を実施しているが、これまでの検査結果では、受検者全員について、被ばく線量は健康に被害が及ぶものではないことが公表されている。

その上で、全県民を対象に不安解消や健康状態の把握を目的に「県民健康管理調査」を実施していることから、その調査を積極的に受けていたきたい支店等からの要望があった場合は、できる限りメンタルヘルスを含めた心身の健康相談に赴くなど、社員の健康管理に万全を期していく。あわせて、当該地域の集配を受け持つ郵便事業会社の支店等において、集配用バイクに放射線量測定機器を搭載し、放射線量データを取得している。

◎また、津波警報発令時における避難誘導マニュアルや初動対応マニュアル

ル等を整備し、共同社屋については各社合同の避難訓練を実施した。さらに統一したマニュアルを平成24年度に、ポータルサイトへの掲出等周知する。
訓練等を充実させ実施していく。

【郵便事業株】

・東日本大震災において300名(子会社の2名を含む)の尊い命を失ったことから、人命第一の対応を最優先に考え、BCP(事業継続計画)等関係規程の見直しを行った。

・当該規程の内容が確実に実施されるよう、津波等の災害が発生した場合において、各自治体のハザードマップを踏まえ、社員が具体的にどのような行動すれば良いのか、支店、支社、本社が連携した全社訓練を行った。

・さらに、防災物品の充実を図ると共に、グループ各社が連携した訓練を継続的に実施していく。

・防災物品の配備内容

24年度当初に配備する充実物品、ライト付多機能ラジオ(すべての支店に1個)、

難燃性毛布(災害発生時に拠点となる統括支店に、初動対応に必要なと考える数(3人に1枚))

簡易トイレ(本社で指定した津波等危険性の高い地域の支店に、初動対応に必要な数(一人5回分)を配備する)。

所有建物の耐震診断は平成22年度までに全て終了し、耐震性能を満たさない支店については、耐震改修工事を平成27年度までに順次実施(平成23年度末現在の耐

震改修未実施支店は10支店)する。

III 本部判断

①「人命第一優先」としたグループ全体の危機管理態勢が構築されたこと、

②各社に合った、人命第一優先のマニュアルに見直したこと、

③避難指示を実際に行なう管理職社員等のマネジメント能力の向上に向けた訓練を実施している、

④同一社屋における社員合同の避難訓練を継続的に実施するという方向が示されたこと、

⑤帰宅困難者対策は一部検討中の事項もありますが、非常食や毛布類などの備蓄が進みつつあること、などについて確認できたところです。

概ね交渉の到達点に達したと判断し、大綱整理を図ったところです。

日
刊

JP新東京

NO. 862

2012年4月16日(月)

日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部

TEL 03-5606-6784 内線 4353

ゆうパック部送別会行われる

3月25日、ホテルルートイン東陽町にてゆうパック部の分会合同による退職者送別会が華やかに行われました。

ゆうパック部退職者9名のうち、6名の方が参加していただき、送り出す側も80名を超える方に参加していただきました。これも退職者の方々の人望によるものだと思います(幹事サイドはうれしい悲鳴でした)

立食による歓談も半ば、毎年恒例の惜別バンドによるミニライブが始まりました。ビートルズナンバー等、老若男女が楽しめる曲のラインナップになっており、終盤の方ではダンスに参加する方もおりました。

演奏が終わり、場の空気も最高潮となった所で、退職者の方への花束贈呈があり、熱い抱擁、握手等々がありました。(BGMの花-「オレンジレンジ」が印象的でした)

最後には退職者の方々から、今までの思い出、感謝の念、残る者たちへのエールの言葉をいただきました。

大所帯ではありましたが、幹事冥利に尽きる送別会となりました。

改めまして退職者の皆様、永い間大変お疲れ様でした。そしてまた4月よりのお力添えをよろしく申し上げます。

ワンデー・オーバーナイトサービスの廃止等について

東京支社より、ワンデー・オーバーナイトサービスの廃止等について情報提供がありましたので周知します。

概要は、東京都内において取り扱っているワンデー・オーバーナイトサービスは、多大な集配コストを要しているため平成24年5月31日限りで廃止し、類似サービスである「当日配達ゆうパック」の取扱地域を拡大し、CVS店舗でも引受を開始するとしています。

1. ワンデー・オーバーナイトサービスの廃止

ワンデーは5月31日(木)の早朝取集を最終便とする(配達支店到着は5月31日(木)夕方以降)、オーバーナイトは5月31日(木)夜間取集を最終便とする(配達支店到着は6月1日(金)午前)とします。

2. 当日配達ゆうパックの取扱拡大

(1) 「当日配達ゆうパック」のうち、「同一地域区分支店エリア」について、以下の拠点でも取扱を開始します。

- ① 東京23区全域、多摩全域の提携CVS(約2,000店舗)
- ② 東京23区全域、多摩全域の支店及び支店に併設する郵便局

(現在は、東京都心6区、多摩11市に限られているものを全域に拡大)

(2) 「当日配達ゆうパック」のうち、「当該支店の配達エリアあて」について、東京都、大阪府以外の支店併設郵便局においても取扱いを行います。

(3) 実施日

平成24年6月1日(金)

【参考】

		ワンデー・オーバーナイトサービス(平成16年10月開始)		当日配達ゆうパック	
		ワンデー	オーバーナイト	統括支店エリア内	当該支店配達エリア内
サービス概要		午前4時までに引き受けたゆうパックを東京都、関東7県+名古屋都市、宮城県に当日中に配達	午後10時までに引き受けたゆうパックを東京都、関東7県に翌日午前中に配達	午前中までに支店及び支店併設局で引き受けたゆうパック(※)を統括支店の受持地域あてに当日中に配達 ※ 東京都内のCVS店舗においては午前10時までに引き受けたゆうパック(6月1日予定)	各支店で設定する締切時間までに引き受けたゆうパック(※)を当該支店の受持配達地域あてに当日中に配達 ※ 東京都内のCVS店舗においては午前10時までに引き受けたゆうパック(6月1日予定)
対象地域	引受	東京都内	東京都内	東京23区、東京多摩地域(6月1日予定)、大阪市と周辺	全国
	配達	東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県、宮城県及び名古屋市 ※宮城県及び名古屋市あては東京23区内のみ引受	東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県及び山梨県	東京23区、東京多摩地域、大阪府(統括支店エリア内)	引受支店の受持配達地域
締切時間		午前4時	午後10時	午前中 ※東京都内のCVS店舗は午前10時(6月1日予定)	各支店で設定(遅くまで可能) ※東京都内のCVS店舗は午前10時(6月1日予定)
配達時間		引受日の当日午後から夜間	引受日の翌日午前中	引受日の当日中(17時以降21時までに配達)	引受日の当日中(持込時間により柔軟に対応)
料金		付加料金なし	付加料金なし	付加料金なし	付加料金なし
取集便		専用便	専用便	既存の午前取集便(東京23区、東京多摩地域のCVSのみ)	既存の午前取集便(東京23区、東京多摩地域のCVSのみ)

一 輸送分会

退職をお祝いする会

盛大に開催しました！

3月11日(日)、本場にある「海鮮居酒屋おくまん」で長い年月、郵便事業を支え3月31日をもって大きな節目を迎えた定年退職者4名と再雇用満了13名、期間雇用終了2名の先輩方に敬意を表し感謝の意を込め送別会を開催した。

冒頭、昨年の同日、14時46分、東日本を中心に史上類のない大地震が発生し、多くの方が犠牲になったことから、心からご冥福をお祈りし一分間の黙祷を行って会は始められた。

初めに、島村副支部長の開会の言葉で会は開かれた。

その後、参加者一人一人から定年退職される4名の方に対して、ひと言ずつ挨拶を頂いた。当分会は到着と差立が一つの分会となつて初めての送別会であり、到着と差立の交流について十分であったかといえは疑問も残るが、担務の垣根を越えて職場での印象を話す場面もあり実のある会と感じた。

最後に、千葉分会長から「長年JP労組運動を盛り上げて頂きありがとうございます。先輩方の築いてきた歴史を更に発展させなければならぬ

使命に重任もありますが、精一杯頑張っていこうと思います。先輩方もこれから第2の人生を十分に楽しんで下さい」と感謝の言葉とともに堅い決意が述べられた。

長年の労に感謝し花束と記念品を贈呈したが、定年を迎えた先輩方が花束を抱え微笑みながら写る記念写真は、改めて価値あるものと感じた。



左から
筒井さん、福田さん、阿部さん、秋山さん
本当に長い間お疲れさまでした。また、これからもよろしく願いいたします。

日 刊	JP新東京	No.865	2012年4月19日(木)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5606-6784 内線 4353	

一普分会 送別会を盛大に開催！

3月31日(土)、東陽町にある「つきじ市場食堂」で大変長い間郵政事業に貢献され、私たちに仕事をはじめ様々なことをご指導頂いた先輩方に感謝の気持ちをこめて、退職された方5名を含む47名で送別会を盛大に開催しました。

吉江分会幹事の司会で18時30分から始められ、冒頭、高橋書記長からねぎらいと感謝の言葉の挨拶の後、阿部執行委員の乾杯の発声で懇親が進められました。

懇親中は、お世話になった大先輩の近くに座席を移動して感謝の気持ちを伝える方や、昔話を懐かしみ盛り上がる方、また、日頃はあまり話しが出来ない期間雇用社員の組合員との会話を楽しんで交流を図る姿も見受けられました。

終盤に入り、出席された5名の方からそれぞれ挨拶をいただいた後、これからの分会を支えていく若い分会幹事から花束と記念品が贈呈されました。

最後に後藤執行委員より「感謝の気持ちで一杯です。何も言うことはありません。ただただひと言・・・、ありがとう！」の言葉で閉会となりました。



今回の送別会及び、レクの参加費の一部を東日本大震災義援金カンパ金として、支部で集約された後、東京地方本部へ送金させていただきました。この紙面を借りてご理解とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

名 称	第83回メーデー中央大会		
日 時	2012年4月28日(土) 10:00~14:30		
構 成	(1) 結集デモ	8:30~10:40	
	(2) 中央式典	11:00~12:00	
	(3) ようこそ!		
	ユニオン・カーニバル!!	10:00~14:30	
会 場	代々木公園 (B地区、サッカー場。けやき通り)		

第83回メーデーに参加しよう!!

日 刊 AP 新東京	No.866	2012年4月20日(金)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

夏期における特認貸付に対する 利子補給について

＝本人利子負担1% (貸付利率4.26%うち3.26%を会社負担)＝
＝貸付限度額 (基本給＋扶養手当＋調整手当×1.3月)＝

2012春闘交渉において、年間一時金の減に伴う住宅ローン、教育ローン等を抱える社員の返済に対する救済措置について基本合意し、詳細は別途としていましたが、以下のとおり、夏期における具体的取扱いについて、グループ各社より説明がありました。なお、JP労組中央本部は、申し込み期限・送金日等、社員周知に対して万全を期すよう要請し、会社側もこれに応じたところです。

1. 臨時貸付対象

- (1) ローン等の返済がある社員（日本郵政共済組合の組合員に限る。）のうち、希望者に対して、日本郵政共済組合が普通貸付（特認）を行う。
- (2) 普通貸付（特認）を受けた社員に対して、会社から利子補給を行う。
- (3) 貸付対象となるローン等は、住宅、教育、自動車、結婚、旅行等、用途が特定されている各種ローン及びクレジットカードのショッピング枠利用とする。

(注1) 以下は貸付対象としない。

- ①銀行、消費者金融等からの、用途が特定されていない借入金の返済資金（カードローン、キャッシング等）
- ②夏期一時金支給日の前日において既に完済しているローン等
- ③本件貸付に関する詳細が別途社員に周知される日以後に契約したローン等

2. 臨時貸付申込時の提出物

「貸付申込書」、「借用証書」、「給与明細書（写）」及び「ローン契約の確認書類（契約書の写し等、契約書がない場合は申立書）」とする。

3. 申込期限

2の提出物を社員から直接、次の期限までに共済センターへ送付する。
書類送付期限（必着厳守）と送金日

第1回 5月25日必着・7月 5日送金（7月第1回）

第2回 6月 8日必着・7月20日送金（7月第2回）

第3回 6月25日必着・8月 6日送金（8月第1回）

4. 貸付限度額

貸付限度額は、「(基本給+扶養手当+調整手当) × 1.3月」により、社員ごとに設定する。

(注2) 上記の貸付限度額の他に、日本郵政共済組合の貸付制度上、普通貸付と特別貸付を合わせた限度額は630万円となる。

(注3) H23年度に普通貸付（特認）に対する利子補給を受けた者も、新たに上記の貸付限度額内で普通貸付（特認）・利子補給を受けることができる。

5. 貸付利率

日本郵政共済組合からの貸付利率は4.26%、会社からの利子補給に係る利率は3.26%とする。（実質金利は1.00%）

6. 弁済期間・弁済方法

(1) 弁済期間は120カ月以内とする。

(2) 弁済方法は元金均等弁済とし、月例控除のみ又は月例・ボーナス併用控除とする。

(注4) 毎月の弁済金額（他の機関への弁済金を含む。）は基準内給与月額（基本給+扶養手当+調整手当）の30%以内とする。

7. 会社からの利子補給方法

会社は、四半期ごとに利子補給額を計算し、4月、7月、10月、1月の給与支給に併せて、前3か月の弁済金に応じた利子補給を行う。

8. その他

(1) 日本郵政共済組合から既に特別貸付及び一般住宅貸付を受けている社員のうち、希望者に対して一時金（夏期及び年末期の一時金）による弁済予定の元金を弁済猶予する。

(2) 年末期における普通貸付（特認）・利子補給の実施については、夏期とは別に、別途詳細を周知する。 詳しくは組合役員まで…

日 刊 新東京	No. 8 6 7	2012年4月23日(月)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

スカイツリーと東京大空襲

東京下町の墨田区押上には、東京スカイツリーが来月22日の開業を前にして、誇らしげにそびえ立ちその時を待っている。世界一高い電波塔だ。

67年前まさに米軍機がこの場所、この一帯を爆撃し、わずか2時間半足らずで下町（墨田区、台東区、江東区）を火の海と化し、多くの一般市民が殺戮された。

爆撃に向けて強風の多い春先を選び、機体の機銃を撤去し、乗員を減らし、その分焼夷弾を詰めるだけ詰め込んだ。確実に狙いを定められるよう低空飛行を行い、隅田川や荒川の堤防沿いに焼夷弾を落とすことで炎の壁を作り、市民の逃げ道を遮断した。一般市民への完璧な殺戮作戦。その落とした焼夷弾の総重量は、わずか数時間で二千トンといわれる。死者は10万人に及んだ。

67年前、向島区吾嬬町（現墨田区八広）で中華料理店を経営する仕福さんとその妻登美さんの自宅兼店舗にも火の手は及んだ。登美さんは4歳の子供をおぶり、荒川へと逃げた。家は焼失したが、幸い一家は無事で子供は逃げる最中もすやすやと眠っていたという。

「夜空が真っ赤だった。地面の炎が反射して空に映っているような一面の赤。その色だけは覚えています」

翌年、一家は業平へと移った。今の東京スカイツリー建設地から150メートルしか離れていないところだ。

この東京大空襲を体験した4歳の子供は、のちに世界のホームラン王と呼ばれる王貞治氏である。

「路地で内野だけの野球をしましたね。布のグラブに棒きれのバット。車が来たらタイムって中断して・・・」

自分の子だろうが他人の子だろうが分け隔て無く叱る大人たちが近くにいた。王氏は読売ジャイアンツに入るまで、そんな下町の人情に育まれ過ごしてきた。

「あの場所で、かつて悲しい過去があったことを忘れてはいけない。その対比があってこそ、スカイツリーの本当のすごさが分かると思うんです」

(※一部ネットの記事を引用しています)

漢字読めるかな？

読めそうで読めない・・・あなたは読めますか？

- | | | | |
|------|------|------|------|
| ① 労る | ② 雪ぐ | ③ 論う | ④ 戦く |
| ⑤ 拱く | ⑥ 集く | ⑦ 購う | ⑧ 麿る |
| ⑨ 具に | ⑩ 漫ろ | ⑪ 強ち | ⑫ 努々 |

正解

- ①いたわる②すすぐ③あげつらう④おののく⑤こまねく
⑥すだく⑦あがなう⑧すたる⑨つぶさに⑩そぞろ⑪あながち
⑫ゆめゆめ

日刊
ア新東京

No. 8 6 9

2012年
4月25日(水)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

思いでいっぱい

晴海局の「コマ」



退職を迎え、晴海局時代を振り返りその「コマ」を紹介したい。

晴海局は正式には、晴海通常郵便集中郵便局という長い名前だった。

昭和四二年東京中央郵便局を郵便物増にたいして郵便種類別に分割して南部小包局・北部小包局とともに開設された。

晴海埠頭へつながる四車線の

通りはバス以外走っていないかった。モーターショーが開催されると風景が一変し道路混雑のため歩いて帰ることが強いられる。まだ月島駅やかちどき橋駅が無いため築地駅、銀座駅に歩いて三々四々分向かうことになる。

晴海地域では晴海労働者がつくられていた。道路混雑時に専用の送迎バスをチャーターするな

ど地域に密着した取り組みをおこなっていた。

私は昭和四九年に入局した。すでに晴海局は七年目を迎えていた。当時としても決して綺麗ではなかった建物で、局内は定形外薄物の区分函が現在の二普通課のように並び、ベルトコンベアーが四方に広がる機械化工場そのものだった。

晴海局は、地下一階に食堂・ロッカー・風呂があるという衛生上問題のある造りだった。食堂の味は自慢できないもので近くの港湾食堂や日産や浦島ホテルなどの食堂に通った。

若い人が多かったのでスポーツが盛んで、マラソン、テニス、



各課ごとに「イーグルス」、中日そっくりのユニフォームの「オール晴海」、巨人ファンの多い「発着ジャイアンツ」があり、日通、日の丸タクシーなどと対戦をした。

また、ボーリング、麻雀、インバーダーゲームなど時代とともに歩んだ。

組合活動も盛んで七四年賃上げを求める春闘時にはストライキに突入した。門前にはピケット隊が出勤してくる局員をともしストに入るように説得する。局内車道上では時間内集会をおこない氣勢をあげた。

また七五年末のスト権スト、七八年末の反マル生闘争では「正規の取り扱い」闘争を全国の仲間と共に一生懸命おこなっ

た。

その後、鉄道郵便の廃止という輸送合理化、国鉄民営化で多くの仲間が配転され異動してきた。ほぼ同時に、昼間帯中心の業務が翌配体制になり、晴海局全員に16勤務が導入された。

今と違う一日1回限りの深夜勤導入に対しては中央委員会開催のホテル浦島の玄関前で支部として多くの組合員と反対の声をあげていった。

また大局同士の連帯感も強く中郵・南小・北小、名古屋、大阪中郵とも常に連絡をしいた郵袋・ケース重量制限の取り組みもおこなってきた。

また細々と公務災害を認定させる取り組みを粘り強くおこなった。のちに地本全体の取り組み

みへと広がっていった。

その後九〇年に新東京開局とともに廃局となり二〇年以上「倉庫」という歴史をたどり、京橋局の機能を移転して新生「晴海支店」が開局した。

三・一一の震災・津波のことを考えると、海抜1メートル、「倉庫」での二〇年を加えると四五年以上の老朽化局なのが心配ですが……。

また全国的に深夜勤が実施されて多くの人が悲鳴をあげているなか八年になる。わずかな改善もされない今日、「雇用と労働条件を守る」という組合の基本がどうなってしまったのかと考えざるをえない……毎日です。

【投稿】



火のない所には煙は立たない

火(鉄パレット)煙(労働災害)

今のゆうパック職場には何種類もの輸送容器が混在している。

ロールパレット、R、B、黄鉄、赤鉄、白、緑等々。

黄鉄パレットの扱いに慣れてきて事故や怪我が少なくなってきたと思つたら、三月には、幅はロールパレットと同じ規格で丈の高い、黄鉄パレットより重心が高く、更に

不安定で大きな新型の赤鉄パレットが、全国的に大量に配備された。

多分、「安い」からだろう。

初めてこのパレットを見た時「事故の多い鉄のパレットを配備するなんて信じられない」というのが皆の感想であった。

黄鉄パレットが導入されてから今まで、多くの労働災害が発生した。

特に、中棚が鉄のために、スツパーの不具合も含め、頭の中棚が直撃し何針も縫う大怪我をした人が何人もいた。指を

日刊

ア 新東京

No. 870

2012年
4月26日(木)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

骨折したり、折り畳んでいた黄鉄パレットが倒れて下敷きになり怪我をする事故も発生している。

【ついに赤鉄で重大災害が発生】

「3/30に引き続き4/13、折って保管してある赤鉄パレットを引き出す際に、パレット裏面側から引いたためにパレットが倒れ、当該担当者が下敷きになり重傷を負う事例が発生しました」(4/22)

「4/13深夜帯での折り赤鉄パレットの転倒・下敷きによる担当者の負傷事例に続き、4/20新夜帯で、赤鉄パレットの中棚落下により指を負傷する災害が同夜に2件発生しました。パレットの正しい取扱い

については、周知と個人教育を行なっていますが、災害を防ぐには、災害を一度と発生させないという当課で働く皆さんの強い意識が必要です」

(4/23)

以上、会社のミーティング記録簿から

この事故によって、一人は脊椎圧迫骨折、もう一人は中指の骨折して長期休務となっている。

ゆうパック分会では、あらゆる機会を通じて黄鉄パレットの改善・改良を求めていたが根本的な改善はなされていない。

★中棚を軽くて丈夫な素材にする(LRBBの中棚のような

材質)

★ストッパーを改良する

★不要な出っ張りを無くすようにする

★隙間が大きく荷物が降ちるので隙間を狭くする

★もう鉄製のパレットは配備しない

等々、安全に安心して作業するために改善すべき点が多々ある。

事故発生後、「黄鉄・赤鉄パレット安全取扱教育」なるものが実施された。事故が起きてからでは遅すぎるのである。

「基本作業を守り正規の取扱いを」というが、現実には時間を追われての作業回し。

溢れ返るパレットの合間をぬ

ごとの搬送作業。

「安全第一」の職場環境が確保されているとは言い難い状況である。

事故が起きるたびに「基本動作の不徹底」「個人の不注意」などと言うが果たしてそうなのか。

経費削減のために「安からう、悪からう、危なからう」の輸送容器を配備することや、今の職場状況に問題があるのではないか。

ゆうパック分会では「安全なくして労働なし」を基本に、組合上部を含めて取り組みを行つていきたいと思ひます。

(第三ゆうパック分会投稿)